

2018年2月23日

報道関係各位

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ

日本イーライリリー株式会社

EL18-04

「第14回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」受賞者決定!

「当事者部門」「支援者部門」の2部門で2名2団体が受賞

2018年3月23日(金)表彰式&セミナー 開催

大人になって発達障害と診断された落語家、柳家花緑さんがプレゼンターとして登場

【セミナー参加者募集中】テーマは「親なき後を支える仕組み」

認定特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構・コンボ(事務局:千葉縣市川市、以下「コンボ」)は、「第14回精神障害者自立支援活動賞(通称:リリー賞)ーひとりひとりの輝くあしたへー」を募集し、92件の応募の中から、選考委員会により、特に優れた活動を行っている当事者部門2名、支援者部門2団体の受賞者を決定しました。2018年3月23日(金)に開催する表彰式にて、受賞者に盾と副賞を授与します。

プレゼンターには、大人になってから発達障害と診断されたことを著書で語っている、落語家の柳家花緑さんをお迎えします。式に続いて開催するセミナー(入場無料)では、「親なき後を支える仕組み」をテーマに取り上げます。内閣府の調査によれば、精神障害者の約4分の3が家族と同居しており、家族の多くは「親なき後の心配」を抱えています。当日は、精神障害者の自立を目指す活動の事例として、地域ネットワークやグループホームで支える各地の取り組みをご紹介しますとともに、「親なき後」のために今後どのような仕組みが求められているのか、ディスカッションを交えて考えます。

つきましては、リリー賞表彰式およびセミナーの告知活動へのご協力をお願いするとともに、当日の取材についてご案内申し上げます。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

「第14回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」受賞者

＜当事者部門＞ 副賞100万円

滋賀県 曾根 博(そね ひろし)さん

統合失調症の経験をもとにNPO法人や事業所の開設に尽力、当事者と家族を支える活動を40年間継続

大阪府 塚本 正治(つかもと まさじ)さん

シンガーソングライターや当事者支援の相談員として、20年以上にわたり精神障害への理解促進に向け活動

＜支援者部門＞ 副賞50万円

高知県 社会福祉法人さんかく広場 就労障がい者交流拠点事業「りんく・じよい」

働く精神障害者の相談先の役割を担い、企業や地域住民も参加する交流会を通じて地域定着・就労継続を支援

東京都 みんなで同じ風にあたろう(愛称:みんな風)

月1回のランニング練習会がもたらす「安心できる居場所」と「ゆるやかなリハビリ」

＜精神障害者自立支援活動賞(通称:リリー賞)＞

「リリー賞」は、精神障害者の社会参加や地域社会での自立を促す活動を行っている当事者・当事者団体を表彰する賞として、2004年に設立されました。第9回より「当事者部門」に加えて「支援者部門」を設立し、医療、福祉だけでなく、地域コミュニティ、教育など、さまざまな分野・立場で、精神障害者の社会参加・自立を支援する個人やグループ・団体を対象としています。この表彰を通じて、精神障害者の社会参加・自立を支援する独自性のある優れた活動を社会へ広く紹介し、統合失調症をはじめとする精神疾患に対する正しい理解を深める一助となることを目的としています。

■一般からのお問合せ先:

認定NPO法人地域精神保健福祉機構 コンボ・リリー賞係

TEL:047-320-3870/FAX:047-320-3871

〒272-0031 千葉縣市川市平田3-5-1 トノックスビル2F

■報道関係者からのお問合せ先:

広報代理店 ㈱トークス

TEL:03-3261-7715/FAX:03-3261-7174

担当:松木、佐野

第 14 回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)表彰式&セミナー 開催概要

日 時: 2018 年 3 月 23 日(金) 13:00~16:30 (受付開始 12:30)
場 所: 東京国際フォーラム「ホール D7」(受付 6F)
(東京都千代田区丸の内 3 丁目 5 番 1 号 TEL:03-5221-9000)
主 催: 認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構(コンボ)
協 賛: 日本イーライリリー株式会社
後 援: 日本精神保健福祉連盟、全国精神保健福祉連絡協議会、全国精神保健福祉相談員会、日本精神科看護協会、日本精神保健福祉士協会、精神科作業療法協会、日本うつ病センター、全国精神障害者社会福祉事業者ネットワーク、日本精神神経科診療所協会、全国精神障害者地域生活支援協議会、全国精神障害者就労支援事業所連合会、全国精神保健福祉会連合会、全国精神障害者団体連合会、日本精神保健福祉事業連合

プログラム: **・13:00~ リリー賞表彰式 & 受賞者の活動紹介**

・14:00~ 『こころの元気+セミナー』

● 親なき後を支える仕組み

基調報告「親なき後を支える仕組み～現状と課題～」
大島 巖 (認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ 代表理事)
＝コーディネーター

「親なき後のために～宇部障害者サポートネットワークの活動」
藤井 悌一 (山口県 社会保険労務士・中小企業診断士/特定非営利活動法人ときわ理事長)

「高齢精神障害者対応グループホームで支える」
櫻庭 孝子 (神奈川県 NPO 法人西区はーとの会)

「グループホームを拠点にした ACT サービスで支える」
倉知 延章 (福岡県 一般社団法人 Q-ACT)

参加費: 無料 (要事前申込)

定 員: 150 名

申込方法: ①氏名 ②郵便番号・住所 ③メールアドレス ④電話番号 ⑤お立場(当事者、家族、福祉関係者、医療関係者、行政、その他) ⑥一緒に参加される方のお名前(複数名で参加される場合)を記入の上、WEB・FAX・ハガキで下記のとおり、コンボまでお申し込みください。(申し込みいただいた個人情報は、表彰式とセミナーの運営以外の目的で利用いたしません。)

先着順で参加券をお送りします。当日ご持参ください。

申込締切: **2018 年 3 月 18 日(日)必着**

※事前申込なしの当日参加はできません。希望者多数の場合はお断りをする場合があります。

申 込 先: (W E B) <https://lilly.peatix.com/>

(F A X) 047-320-3871

(ハガキ) 〒272-0031 市川市平田 3-5-1-2F 「コンボ・リリー賞係」宛

柳家花緑さん プロフィール

落語家。中学卒業後、祖父・五代目小さんに入門。戦後最年少の 22 歳で真打昇進を果たす。古典落語はもとより、劇作家などによる新作落語にも意欲的に取り組むほか、テレビ、舞台などでも、ナビゲーターや俳優として幅広く活躍中。2017 年 8 月に出版した『花緑の幸せ入門「笑う門には福来たる」のか?～スピリチュアル風味～』(竹書房)では、子どもの頃の発達障害の経験を語っている。



「第14回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)」応募・選考 について

■募集期間 2017年9月1日～12月31日

■応募件数 当事者部門 56件
支援者部門 36件

■選考

「当事者部門」については ①当事者を主体とした取り組みであること、②独自性、③社会・医療・保健福祉へのインパクト、「支援者部門」については ①独自性、②社会・医療・保健福祉へのインパクト、③将来性の3点をそれぞれ主な選考基準として、以下9名の選考委員により2018年1月28日(日)に行われました。

【選考委員】(敬称略)

高橋 清久 (公益財団法人精神・神経科学振興財団理事長)
佐藤 光源 (東北大学名誉教授・医療法人恵風会高岡病院特別顧問)
中村 純 (産業医科大学名誉教授／特定医療法人北九州病院北九州古賀病院院長)
寺谷 隆子 (社会福祉法人JHC板橋会理事長／山梨県立大学人間福祉学部特任教授)
元村 祐子 (第13回リリー賞受賞者)
藤野 英明 (コンボ理事／横須賀市議会議員)
大島 巖 (コンボ代表理事／日本社会事業大学)
伊藤 順一郎 (コンボ共同代表／メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ)
宇田川 健 (コンボ共同代表)

認定NPO法人地域精神保健福祉機構・コンボ(Community Mental Health & Welfare Bonding Organization)について

「精神障害をもつ人たちが主体的に生きて行くことができる社会の仕組みづくり」を目的とし、2007年2月に設立したNPO法人です。「当事者の視点」を活動の主眼に据え、当事者、家族および専門職を対象とした情報提供や、ACT・家族心理教育・就労支援など科学的根拠にもとづくプログラムの実践および普及活動、そして、地域精神保健福祉の発展に資する活動などを主に行っています。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://www.lilly.co.jp>